

## S-7100

当社の近赤外分光技術を結集した、  
小型、高性能の近赤外分光光度計です。

波長範囲 1100nm~2500nm の反射スペクトルを 1秒/スキャンにて測定します。  
測定したスペクトルから統計解析により、成分を算出表示することができます。  
試料回転機構により、不均一な試料でも安定した測定を実現することができます。

### ● 装置外観



### ● 主な仕様

波長範囲	1100~2500nm
波長分解能	20nm
測定方式	近赤外線反射方式
測定速度	1秒/1scan※
インターフェース	USB
本体形状	240(H)×370(W)×242(D)/11kg
本体電源	AC100~240V
消費電力	200VA

#### 標準付属品

- 本体
- 測定用ソフトウェア
- 試料用カップ (2個)
- 基準白板
- ACケーブル

#### オプション

- 粉砕器
- 試料室用クリーナ
- DLL OLUP/ OLUC
- THE UNSCRAMBLER

※ 測定時間・・・約1分/回

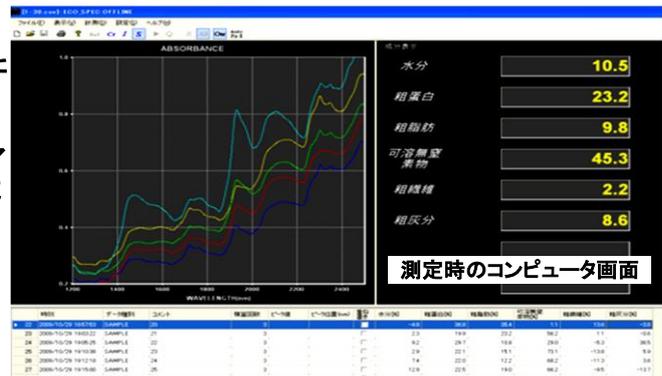
# S-7100

## ● 計測プログラム

中央に吸光度スペクトル(1100~2500nm)、右端に対象とした成分項目名と成分推定量、下段には、測定した試料のスペクトルデータリストが表示されます。

測定された試料のスペクトルと化学分析による実測値からアンスクランブラーにより検量線を作成すれば、その検量線と成分未知試料スペクトルから、成分値を推定できます。

成分算出プログラムOLUP(オプション)を組み込めば、この検量線を測定プログラムに組み込み、成分のリアルタイム画面表示が可能です。



## ● 試料室

試料は粉碎して試料カップに適量入れ、重りを載せて測定します。

次に、試料室内の試料台に試料カップをセットし、パソコンから測定開始を指示することにより測定が開始されます。

この試料台は、モーターにより回転させることが可能で、試料カップ内の数ポイントを測定する事ができます。この回転機構により、試料の粉碎状態が不均一でも、平均化されたデータを得ることができます。



## ● アプリケーション

本装置により測定したスペクトルと、成分実測値を統計計算プログラム UNSCRAMBLER (オプション) により処理することで、検量線ファイルを作成することができます。この検量線ファイルを使用して、未知成分の試料について、その測定されたスペクトルから成分値を算出表示させることができます。下記の表に示すように様々な測定対象について、測定成分/成分含量を推定することができます。

### 測定例

測定対象物	測定成分
米・麦	水分/蛋白/脂肪/繊維
お茶	全窒素/水分/カフェイン/テアニン
堆肥	全窒素/全炭素/全リン/酸性デタージェント繊維/可溶性窒素
土壌	全窒素/全炭素/リン酸吸収係数/塩基置換容量
葉	水分/窒素
各種飼料	水分/粗蛋白/粗脂肪/粗繊維/炭水化物/粗灰分

- 本仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- カタログと実際の商品の色は、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。

- お問い合わせは下記まで

**Soma** 株式会社 相馬光学

〒190-0182  
東京都西多摩郡日の出町平井23-6  
TEL : 042(597)3256 FAX : 042(597)3208  
E-mail : sales@somaopt.co.jp  
URL : https://somaopt.co.jp

[販売代理店]